

2022年12月05日

【格付維持】

東海国立大学機構

発行体格付： AA+ [格付の方向性： 安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

東海国立大学機構（以下、機構）は傘下に名古屋大学と岐阜大学を置く国立大学法人。学生数は国立大学法人3位、2つの附属病院の収益は同1位の規模を持つ。名古屋大学は帝国大学を前身とし、指定国立大学として日本の教育研究活動を先導する役割を果たす。一方、岐阜大学は師範研修学校を起源とし、特定分野の教育・研究に強みを持つ地域大学。機構は文部科学省が所管し、国が全額出資している。教育政策上の極めて高い重要性に加え、機構自身の事業基盤の強さを評価に反映している。

大学を主とする高等教育機関は教育と研究、社会貢献に寄与する公共財として非常に重要な役割を担う。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として政策上の重要性が極めて高い。運営費交付金をはじめとする財政面のサポートは徐々に弱まっているが、大学ファンドの創設や地域中核・特色ある研究大学向け支援など自律的経営を促すメリハリの効いた新たな施策が整いつつある。政府との緊密な関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関の一角として極めて高い信用力を備える。

地域や世界への貢献を使命とする機構は新組織の「アカデミック・セントラル」を立ち上げ、教育の質向上、学修者本位の教育確立など、両校に共通する分野での教育に関する企画・立案、改革を進めている。名古屋大学では工学分野での優秀な女性学生の増加を目的に、2023年度入学者を対象に工学部の推薦型選抜で女子枠を創設した。旧帝大では初の試みで、女性比率が最も低い学部での入学者増加につながるか注目している。

2カ所の附属病院はともに特定機能病院、災害拠点病院の指定を受け、地域における医療面での要として高難度疾患に対応し、収支は安定している。加えて名古屋大学医学部附属病院は臨床研究中核病院の指定を受けて先進的医療の研究にも取り組む。両院とも新型コロナウイルス感染症により、病床稼働率や患者数の面で影響を受けているが、自助努力による効率的経営や国からの補助金を支えに黒字を確保している。

多くの共同・受託研究資金の受け入れに成功し、寄付金も加えた外部資金獲得額は年々上昇しており、機構の卓越したマネジメント力を表している。2022年4月からは、機構長と名古屋大学総長の兼務を解き、機構長とは別に名古屋大学総長、岐阜大学学長を置く体制に変更した。機構長と総長の業務を切り分けて円滑に機構の運営を行うことが目的だ。ガバナンス、マネジメントの高度化の状況を確認していく。

機構は傘下の大学ごとに強みを持つ分野で教育研究機能の強化、産学連携を拡充するとともに、機構直轄で糖鎖、航空宇宙などの領域を中心に政府から財政支援も受けて研究拠点整備を進めている。事業戦略とともに財務戦略がカギになり、大学ファンドによる支援や地域中核大学に対する認定が支えになるとみられ、その状況を見守っていく。

【格付対象】

発行者：東海国立大学機構

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+（維持）	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	丸山 博哉

信用格付を付与した日	2022年12月05日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2019. 11. 12] 事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 学校法人 [2021. 05. 31]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	東海国立大学機構
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。